

十和田風力開発株式会社がお届けする

風のおたより

2026年7月

Vol.7



今回の内容

- ①テーマ関係者による座談会 …………… P.2,3,4
『地域の活動から見てきた、
環境の変化とこれから』～西茜会に聞く～
- ②(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業概要 …………… P.4

ごあいさつ

(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の事業地である十和田市にお住いの皆さんへ向けて、『風のおたより』をお届けいたします。

本おたよりでは、地球温暖化や再生可能エネルギー、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の背景について取り上げるほか、これまで寄せられた懸念やご質問に対する事業者の取り組みや方針についてもお伝えしてまいります。座談会では、

各号のテーマに関係する方をお招きし、テーマに即した情報をお届けいたします。

なお、本おたよりの内容に関するご感想やご意見は、裏面に記載の弊社HP内にある「お問い合わせフォーム」へお寄せいただけますと幸いです。

いただいたご意見は、次回以降のおたよりや今後の参考とさせていただきます。



『地域の活動から見えてきた、 環境の変化とこれから』～ 西茜会に聞く～

今回で参加いただいた皆様

- ・上坂 広さん
(西茜会 代表)
- ・妻神 国人さん
(西茜会 制作委員長)
- ・中野渡 翔さん
(西茜会 制作部員)

(本対談は2026年6月16日に行っております)



司会 本日は「地域の活動から見えてきた、環境の変化とこれから」をテーマで、西茜会の上坂さん、妻神さん、中野渡さんにご参加いただき、お話を伺いました。

30年の活動歴を誇る

司会 まず、西茜会の活動について教えてください。

上坂 昨年30周年を迎え、今年の3月に30周年式典を行いました。活動の出発点は、この地域に山車がなく、十和田市の秋祭りに参加できなかったため、初代の中沢会長が他地域から山車を借りて参加したことがきっかけとなります。当初の「しめい会」という名称から、現在の「西茜会」として再編されました。「西茜会」の名前の由来は、この西地区は夕日が美しく、オレンジ色の風景にちなんだものです。よさこいを取り入れた演舞や衣装制作など、地域の特色を生かした活動へと発展してきました。現在では山車の自作やライトアップにも取り組み、これまで多くの賞(市長賞など)を受賞し、一昨年と昨年は総合優勝を果たしました。今年は三連覇を目指しております。



上坂氏

子どもの健全育成を目指す

司会 西茜会では「地域の子どもの健全育成」を活動理念のひとつに掲げていると伺っています。この言葉に込めた思いを教えてください。

上坂 子どもたちが地域の活動に参加する中で、協調性や責任感を育んで欲しいという思いがあります。お祭りという非日常の体験を通じて得られる経験は、将来にわたって大きな財産になると考えています。

妻神 参加している子どもたちは非常に素直で、努力する姿勢も素晴らしいと感じています。一方で、コロナ禍の影響により、活動を経験する機会が失われた世代も存在し、その影響は現在も残っています。小学生の時に経験がないと、中学生になって新たに太鼓をしようとはなかなか成らず、継続的な参加につながりにくいという課題があります。

人口減少が大きな課題に

司会 長年の活動の中で、大変だったことや印象に残っている出来事を教えてください。

上坂 最も大きな課題は「参加者の減少」です。最盛期には小学生や保育園児、保護者を合わせて約300人が参加していましたが、現在はその半数近くまで減少しています。地域の人口減少の影響を強く感じています。一方で、地元の西小学校や地域の方々、企業の皆様に支えていただながら活動を続けられていることは大きな喜びです。

妻神 初日は学校行事として小学生に参加していただいますが、初日以外の参加を継続してもらうためには、送迎や参加費など家



【西茜会の山車 令和5年秋祭り】
資料提供：西茜会

庭の負担も伴います。その結果、中日や最終日になると参加者が減ってしまう状況にあります。また、西小学校の新1年生は6名であり、地域全体で子どもの数が減っていることも大きな課題です。



中野渡氏

中野渡 私は保育園の頃から参加しており、山車と太鼓、踊りが一体となった西茜会ならではの迫力・魅力を身近で感じてきました。現在は山車を制作する立場で関わっていますが、自分のように経験を次世代へつなぐ役割も重要だと感じています。

上坂 中野渡さんのような方が増え、引き継いでいただけると本当にうれしいです。

環境変化と活動への影響

司会 近年の異常気象による猛暑日の増加や大雨で、活動の時期や内容等に変化はありますか。

妻神 山車の制作については建屋内で行うため、直接的な影響は限定的ですが、大雨の頻度が増えた印象はあります。太鼓や踊りの練習は小学校の体育館で実施しているため、現時点では大きな支障は出ていませんが、天候の変化には注意が必要だと感じています。

中野渡 それでも、やはり真夏日や猛暑日の建屋内は暑くて、扇風機をかけないと耐えられない状況ですし、人形などを作る部屋にはエアコンをつけるため、暑さ対策の経費は掛かっています。

再エネは資源が枯渇しない

司会 近年、異常気象の原因として地球温暖化が挙げられています。その要因の一つが温室効果ガスとされ、特に二酸化炭素だとされています。私たちが使用する電気の多くは火力発電によって作られていますが、この過程で化石燃料

を燃焼し、大量の二酸化炭素が排出されています。そのため、環境にやさしい再生可能エネルギーへの切り替えが進められています。また、昨今の中東情勢の悪化によりホルムズ海峡が封鎖され、エネルギー資源の安定調達が懸念されていることから、環境問題に加え、エネルギー安全保障の観点においても再生可能エネルギーの重要性が高まっています。

こうした課題を背景に、まずは再生可能エネルギー

についてどのように捉えているかお話しください。

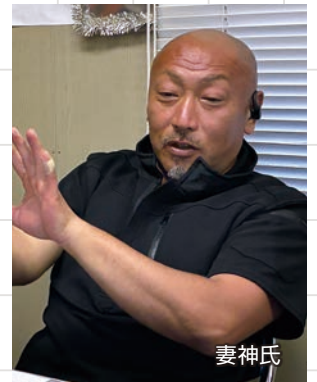
上坂 正直なところ、これまでは深く考えたことがなく、難しいというのが率直な意見です。既設の風車を風が強い日に見た際、ものすごいスピードで風車が回っており、驚きました。近くで見るとスピードがより速いのだと思いました。風がないと風車は回らないのでしょうか。

事業者 その通りです。またメンテナンスの時は風車を止めています。

妻神 昔、牧場開発のために森林を伐採した結果、大雨による土砂流出被害がありました。風力発電は電波塔のように限られた面積しか土地を使用せず、植栽等で緑化するため、比較的環境負荷が少ないという印象を持っています。一方で、太陽光発電については設置から経年後のパネル等の処理などに課題もあると感じています。

中野渡 再生可能エネルギーには水力・風力・地熱など様々な種類がありますが、デメリットは多少あっても、エネルギー資源が枯渇することはないということがメリットだと思います。

今、ホルムズ海峡の封鎖により、石油の供給量が減る恐れがあり、また、石油はいつか枯渇するものと捉えているので、結局は自然の力に頼ることになるのではと考えています。一方では、化石燃料から作っている電力量を再生可能エネルギーで賄えるのかという心配もあります。今後、技術の進展によってこれらの課題がどのように解決されていくのか注目していきたいと思います。



妻神氏

地域との共生を目指す

司会 その中で、弊社は十和田市の惣辺地区で（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業を計画しております。

ここで、まずは事業概要をお話ください。

事業者 2018年より、惣辺放牧場およびその周辺で進めている本計画は、2026年3月（第4回中間報告会時点）において、4,200kW級の風力発電機を26基設置する予定となっています。現在、青森県の共生条例などを考慮し、計画の多角的な検討を行っております。本事業は「周辺環境と調和し、地域と共生した計画づくり」を目指しており、地域の皆様に事業の進捗状況をお伝えし、計画についてご意見を伺うため、これまでに法に定められた説明会とは別に4回の報告会を行いました。

司会 こうした本事業を皆様はご存じでしょうか。

妻神 惣辺放牧場には行ったことがありますが、



令和6年の様子]
提供：西茜会

P.4へ続きます ▶

具体的には知らなかったです。

上坂 他の風力発電所の話は知っていました。惣辺地区での本計画について、野生の動植物への影響は少し気になりますが、住環境への影響は事業地から離れているため問題ないのかなと思います。

中野渡 私は、聞いたことがなかったです。賛否両論あると思いますが、反対されている方の意見を教えてください。

事業者 主な懸念として、鳥類が風車にあたるバードストライクおよび十和田湖・奥入瀬渓流の景観悪化、水質悪化などが挙げられています。

妻神 十和田湖や奥入瀬渓流から風車は見えるのでしょうか。

事業者 風車の配置検討を重ねて、十和田湖を展望地とする主要な眺望点からは十和田湖を眺める際に風車が介在しないようにしており、奥入瀬渓流からは見えない配置としております。鳥類への影響についても、風車の基数変更や配置変更により、低減に取り組んでおり、今後も考えられる対応策は検討していきたいと考えております。

中野渡 風車は点々と配置されているが、離隔は決まっているのでしょうか。

事業者 風車同士が近いと乱流が起こってしまう、風力発電機の故障につながってしまうため、ある程度離して配置する必要があります。

上坂 先ほど「地域と共生する計画づくりを目指している」というお話がありましたが、ど

のような内容でしょうか。また、地元の雇用にどうつながりますか。

事業者 第4回中間報告会でもご説明いたしました。本事業に伴う地域経済効果は現時点で約150億円です。また、地域貢献策の一つとして「産業振興基金」を設立し、十和田市に支払うことを提示しております。加えて、メンテナンス要員においても地元から採用する予定です。

上坂 いろいろな意見があると思いますが、地元の理解が進み、事業ができれば良いと思います。また、地元の雇用につながる点はとても良いと思いました。

司会 本日は貴重なお話をありがとうございました。西茜会の輝かしい活動内容や人口減少という課題がある中でも、地域の未来へつないでいこうという姿勢がとても印象的でした。また、風力発電事業について率直な意見をいただきました。「風のおたより」を読んでいた十和田市の皆様が、地域活動の現状や風力発電事業について知っていただく機会となれば幸いです。

十和田市秋祭りの歴史

大正9年に町内会にて始まり、本格的には昭和24年に山車の運行が行われました。

今日では山車運行が15団体、踊りなどのパレードの出演団体は24団体と、十和田市を代表するお祭りとなっています。

(十和田商工会議所からの情報)

(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業概要

①計画概要

風力発電所総出力：最大 109,200kW

風力発電機出力：4,200kW

設置予定基数：最大 26 基

②事業経緯

2018年：計画開始(事前調査および風況調査準備)

2019年：風況観測開始(風況観測塔設置)

2020年：配慮書縦覧(環境影響評価法に基づく)

2021年：方法書縦覧・住民説明会実施(環境影響評価法に基づく)

2022年：第1回中間報告会を開催・現況調査(動植物・景観等)実施

2023年：第2回中間報告会を開催

現況調査を踏まえ周辺環境への影響を予測評価

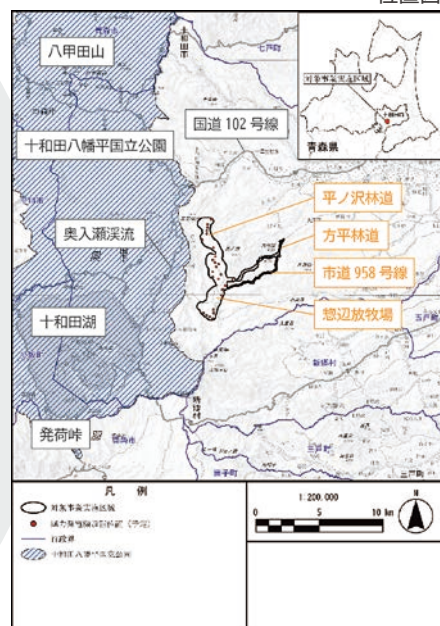
2024年：第3回中間報告会を開催・風況観測完了

2026年：第4回中間報告会を開催

※第4回中間報告会(2026.3)時点の計画です。

引き続き、県共生条例等を踏まえて事業計画を多角的(周辺環境への配慮等)に検討してまいります。

位置図



発行 発行 発行

十和田風力開発株式会社

〒034-0012 青森県十和田市東一番町4-37

TEL 0176-58-0090

HP (お問い合わせ先): <https://towadawindpower.jp/>



※ご意見や感想につきましては、

HPのお問い合わせまでお願いいたします。

なお、お問い合わせフォームへの

正確な情報にご協力願います。